



碧南ロータリークラブ週報

第3081回例会 令和6年2月7日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



世界に希望を生み出そう

- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延

● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

地区国際奉仕委員会 委員長 渡邊寿也様 (豊田RC)

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。本日も例会へのご出席ありがとうございます。

また、先回の職場例会では会員の牧野さんに大変お世話になりました。駐車場の案内から、工場見学と説明を丁寧にしていただきました。少し寒かったですが、お久しぶりの職場例会ということで、昔を懐かしく思い出した次第でございます。

先週の2日の金曜日ですが、会員の石川鋼勇君にお世話になって、12月の暮れの私が欠席した例会の卓話の講師の田中さんのお店へ杉浦幹事と3人でお礼を兼ねてご挨拶に行ってみました。当然、仕立てた訳でございますが、お聞きすると、倉内裕さんもそこで洋服を仕立てて見えるということで、今からはちょっと注意して拝見したいと思います。皆様方もチラ見ぐらいなら多分大丈夫なので、注意して見ていただければと思います。

私が初めてスーツを作ってもらったのが成人式の時で、おばさんから生地をいただきまして、うちの親父もそうなんです、体形がちょっと異常なので既製品がなかなかピッタリこ



角谷信二会長

ないということで、父親が紹介するお店で仕立てていただいた記憶が蘇りました。ただ、オーダーサロンタナカさんは今風と言いますか、もちろんフルオーダーというシステムもあるんですけれども、ある程度採寸しますと、何個かのサンプルがございまして、そのサンプルを着て、あとは微調整をしてスーツが仕上がるという形で、生地がよくてお値打ちに仕立てていただけますので、ご用命の方は石川鋼勇君にお願いして、お店へ行かれたらよろしいんじゃないかなあというふうに思っております。

当然、その後食事をして、時間がちょっとありましたので、ダーツバーという所に初めて連れて行っていただきまして、ゲームをしだすとなかなかダーツも奥が深いということで、私は適当に投げておった訳ですが、杉浦幹事に肘を中心にスローイングをするというふうに教えていただいて、ゲームを楽しんだということでございます。

おまけでございますけれども、風の便りで週末にオールディーズの演奏会があったそうで、山口日出子さんがオールディーズファッションで踊ったということをお聞きしました。今度、日出子さんとご一緒して、オールディーズのパーティーにも行かれたらよろしいかなあというふうに思います。

本日も1日よろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ ロータリーレートの変更がございまして、1ドル141円から147円になりました。
- ・ ガバナー月信2月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ (一社)ロータリーの友事務所より「2024-25年度版ロータリー手帳お買い上げのお願い」が届いております。
- ・ 高浜RCより西三河分区LMに関する諸事お知らせが届いております。
- ・ 2月14(水)、21日(水)は休会となりますので、お間違いのないようによろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後に植樹式を行いますので、関係の皆様は公園の方にお集まりいただきますようによろしくお願い致します。



杉浦栄次幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 63 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 11 名) 出席者 56 名	
出席対象者 56/60 名	出席率 93.33%
欠席者 7 名 (病欠者 0 名)	

入会記念日

3日 山口日出子君

5日 杉浦 秀延君、貝田 隆彦君

10日 服部 弘史君、大竹 密貴君

27日 杉浦 栄次君

クラブフォーラム

「地区国際奉仕の状況」

地区国際奉仕委員会 委員長 渡邊寿也様



渡邊寿也様

皆さん、こんにちは。

豊田 RC からまいっております。豊田 RC はご承知のように本年度、酒井法丈ガバナーを輩出させていただいております。皆さんに大変お世話になっております。改めて御礼申し上げます。私はその関係上、今、事務長ということもさせていただきながら、国際奉仕委員長もさせていただいております。なかなか能力がないものですから、皆さんのご期待に沿える卓話ができるかどうかわかりませんが、2023-24年度のRI2760地区の国際奉仕活動の現状についてということで、ご報告をさせていただきたいというふうに思います。よろしくお願い致します。

今年度のRI会長はゴードン R. マッキナリーさんで、テーマは「世界に希望を生み出そう」ということのでございます。当地区ガバナーの酒井法丈におきましては「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」というテーマで活動させていただいておりますことは、皆さんご承知の通りだと思います。

地区内の各クラブが持つ国際奉仕活動の推進をさせる為にリソースということでの情報の収集を本年度はしております。2020年、2021年、2022年と、ラオス国において「水の衛生」の事業として、井戸掘りと給水塔の設置、学校の手洗い場の完備、トイレの設置、また、緑化事業として（ロータリーの森）100本の植樹を地区内の多数のクラブのご協力を得て実施してまいりました。しかし、これはあくまでもコロナ禍のことのでございまして、各クラブが物理的に国際奉仕事業を展開することが不可能な中での取り組みであり、ウィズコロナ、アフターコロナの本年度は、地区国際奉仕委員会としては、本筋論として情報提供や人材紹介等を中心とした、各クラブの国際奉仕事業の「背中を押す」役割に徹するべきというご指導を得て活動しております。

そこで昨年度、本年度への向かう活動として、各クラブへのアンケート調査を実施し、各クラブの国際奉仕への実績、意識及び持っている国際奉仕活動に資する人材（職業等で海外に関係しているロータリアン。また、米山奨学生の終了者等で協力をいただける方等、ロータリーファミリーとしての連携）、各クラブが持つリソースの調査を行っております。本年度はまずこのアンケートの結果を基にもっと丹念に詳細を調べてまとめ、地区内クラブからの国際奉仕事業に対する問い合わせに答えられる委員会にしたいということで活動しております。

分区単位での国際奉仕活動ということで、これは前年度の鈴木委員長が提唱しておられましたが、分区単位でガバナー補佐が中心となって行う国際奉仕事業をというご提案もございました。

日本国内にある外国人を取り巻く問題へのアプローチということで、愛知県は東京都に次ぎ多くの外国人労働者が働く町であります。約 28 万人ということで、特に日系ブラジル人が約 6 万人、中国人が約 5 万人、ベトナム人が約 4 万人という大変な数になっております。文科省によると、日本語指導が必要な児童生徒数は愛知県で約 9100 人と全国 1 位だということでございます。その子供たちの学力低下が非行問題や犯罪増加の原因となっていることを鑑み、そうした様々な問題解決にも各クラブがロータリーとしていかにしてアプローチできるか考えてほしいということでございます。これは識字率の向上や学力の向上につながるということでございます。

皆さんご承知のようにロータリーにはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕がございまして、海外に出るだけが国際奉仕じゃないということも今は言われております。

7つの重点分野の中で「水と衛生」が3月、「環境」が4月ということで、水と衛生につきましては2014年10月のRI理事会、環境につきましては2022年10月のRI理事会で決定されて、重点分野に登録されております。バングラディッシュやロヒンギヤの難民では、子供たちが水を汲むのが生活の一部になっているということでございます。長年、国際奉仕委員会につきましては、ラオスの水の環境を良くしようということで、こういう子供たちが1人でも減ることを目標に活動をさせていただいております。

地区国際奉仕委員会では、長年ラオスで「水と衛生」を中心に7つの重点事項の奉仕活動をしております。ラオスは人口が約700万人で、周囲を中国、ベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマーに囲まれた内陸国でございます。北西から南東にのびる細長い国で、その南西側にはメコン川が流れております。このメコン川はラオスの人々に貴重な水を届けてきたと同時に、近年は流域でヒ素汚染も明らかになりました。調査の結果、人口約1万4000人の内、約1500人がヒ素中毒にかかっていることがわかりました。ヒ素汚染はラオス中央部と南部のメコン川流域の4県に多く集中しております。これまでのスクリーニング水質検査によると汚染率はそれほど高くなく、50ppb以上のヒ素汚染は1%にとどまっているということでございました。ラオスでの「水と衛生」は単純に井戸を掘れば良いと考えずに、水質検査ができるシステムを構築しなければ、安全な井戸はできないということでございます。今回の事業はラオス政府とビエンチャン県の建設部水道課との共同作業ということでございますので、ご理解をいただきたいと思っております。

2022年7月、コロナ感染拡大の中、入国規制等がございまして、現地訪問等が若干延びておりましたが「水と衛生」の事業の報告をさせていただきます。この写真のように簡易水道があれば「蛇口をひねれば、きれいな水が飲める」ということで、子供たちは水汲みから解放され、学校に行けるということでございます。ラオス国際奉仕は約10年間で5基の給水塔・簡易水道を事業として、1基約240万円の予算でナーセー村に建設した写真でございます。

- ・ロータリーは建設資材の提供
- ・建設する労働者は村人

- ・水道の配管工事は村人が自宅まで自身で行う
- ・維持管理は提供した水道メーターで組合を作り行う
- ・定期的にメンテナンスを行う
- ・お金の払えない貧困家庭は維持作業に雇用され、給金から水道代を支払う
- ・水の水質検査は県環境局が行う

ということでございます。

この写真はトイレでございます。2020-21年度にトイレ3室、手洗い場を約50万円で建設させていただいております。また「子どもたちの果樹園」ということで、2020-21年度に約2800坪の土地に約300本、2021-22年度に約3300坪の土地に約300本ということで、これは土地をお借りしてやっているということでございます。

地区内のクラブ、会員の方から事業協力資金提供をいただきまして、ラオスで「水と衛生」「環境」の奉仕活動ができ、完了したということで皆さんにご報告をすると共にご協力に感謝を申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

環境緑化整備事業 緑町公園植樹式



次回例会案内

令和6年3月6日（水）クラブフォーラム

「誰一人、何一つ欠けても残らなかったであろう半田赤レンガ建物」
 一般社団法人 赤煉瓦倶楽部半田 理事長 馬場信雄氏